

ご意見	対応等
P31 重点方針	
<ul style="list-style-type: none"> NHKの「どうする家康」が放送された時は、愛知県、西三河地区の連携もあり、さわやかウォークなどを通じて多くの人々が幸田に来ました。情報発信の大切さを知ると同時に、幸田町には歴史のある史跡も多く存在しています。また、43%の森林を有し、緑豊かな町でもあります。立地的には、名古屋圏から快速電車で40分ほどで来ます。そして、幸田駅、三ヶ根駅から徒歩で森林に行ける環境にあります。自然と健康促進のための森林浴、ウォーキング道等の整備、歴史ある町のPR、町民が町の良さを知るための新博物館の整備等、複合的な取組みに拠って活性化を図ると良いと思います。これからは、自然森林と健康がキーワードになる気がします。(東京首都圏では休日に高尾山、筑波山へ行きリフレッシュしています) 	<ul style="list-style-type: none"> 「重点方針⑤みんなが集うまちの仕組みを整える」には楽しく歩けるウォーカブルなまちの推進や各種施設の整備についても記載しており、にぎわいと活気あふれるコンパクトなまちを目指していきます。
P35 土地利用計画 全体計画	
<ul style="list-style-type: none"> 現在、幸田町の山を見渡すと竹林が多くみられます。以前は竹の子を採取していたのが時代の変化と共に放置され年に2から3m拡大されています。土地所有の不明確化、高齢化等いろいろな問題が絡み適切な対応が出来ていません。町が中心となって、地域、企業を取り込みながら、計画的な対応が望まれます。また、森林サービス産業の一環としての取組みに含んでほしいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> P35に「森林や竹林の他用途の転用にあつては、自然環境に与える負荷を最小限に止めることができるよう調整を図る」と記載させていただきました。 P49に「竹の利活用や伐採後の跡地利用に関する新たな森林サービスの創出」と記載させていただきました。
P41 地区別土地利用計画 南部地区	
<ul style="list-style-type: none"> 主な取り組みの基本目標2で、自然とのふれあいの場の整備で逆川地区が記されていますが、六栗地区もお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 六栗区の内容として(3)主な取組の環境・景観の保全に里山の自然環境や景観保全を記載させていただきました。

ご意見	対応等
P44 1-1-1 防災体制の強化	
<ul style="list-style-type: none"> 自助、共助が如何に大切かうたわれており良いとおもいますが、公助については教育啓発の分野が主に語られている。自助、共助と公助の係わり方のあり方を説明に入れて欲しい。 町より各区に防災に関しての冊子が配付されているようですが、町民と共有されているのかは疑問です。日常の防災への意識高揚が町、地域が一体となって取組む必要が求められます。その為には、防災訓練は欠かせません。自然災害はいつなんどき起こるか分かりません。「南海トラフ地震の備え」に関連してきますが、防災訓練の在り方も状況に対応した具体的な訓練が求められるのではないのでしょうか。そして、各戸の配布されている「防災ハザードマップ」の周知 あるいは、簡単に一読できるような「防災ガイド」(危機管理リーフレット・よくわかる深溝小ガイド/深溝小発行参照)の発行を検討してみてもはいかがでしょうか 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を「共助の取組」、「公助の取組」、「自助についての啓発」として整理をしました。 災害から身を守るには行政の「公助」だけでなく、一人ひとりの「自助」と地域での「共助」は不可欠です。そのために地域で助け合うことができる仕組みや自身が住んでいる地域の危険度など、防災意識の向上に今後も努めます。
P46 南海トラフへの備え	
<ul style="list-style-type: none"> 「南海トラフ地震・・・」で家庭での備蓄が 3 日以上準備をうたっています。災害時相互協定都市・国・県で具体的に応援要請に対しての出勤対応の内容が町民に共有されればより安心できると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭での備蓄は、行政が用意するものではなく、自身で備える意識が重要であるため、その意識の普及に今後も努めていきます。
P48 1-1-2 河川・ため池・山の整備(治山・治水)	
<ul style="list-style-type: none"> 森林サービス産業と SDGs未来都市が記されていますが、発想としては大変素晴らしいが、森林サービス産業を具体的に示してほしい。 林道の舗装化をうたっているが、自然との融和、災害との関連を考慮した場合、状況に応じては舗装しないで、雨水の自然透過による増水防止を図る対策をしても良いのではないかと思います。これは、林道だけでなく、1-2-1 道路の整備にもいえるのではないかと思います。自然透過対応舗装もあると思われるので場所に拠っての普及対応を。但し、林道の未舗装は、大雨の時など水の通り路となり削道となりやすいため、排水処理が必要になると思われます。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画では詳細は記載していませんが、主な取組に竹の利活用や伐採後の跡地利用に関するものとして記載をさせていただきました。 林道の管理にあつては、安全性と利便性の向上、適正な管理に努める旨を記載させていただきました。

ご意見	対応等
P50 1-1-3 消防・救急体制の充実	
<ul style="list-style-type: none"> 「火災予防と・・・」で2署体制の計画が記されていますが、大変素晴らしい取り組みだと思います。早く具体化されることを祈っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画への記載のとおり、早急に具体化できるよう努めます。
P74 2-1-2 公害対策の推進	
<ul style="list-style-type: none"> 有害化学物質対策で事業所に対して指導を強化すると記していますがカーボンニュートラルが目標年数を設けていると同様に、事業所との対話の中で、達成目標年数を設けて取組みを促したほうが良いと思います。逆に、事業所もそのほうが取組みやすいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> 本取組には工場や事業所の協力が不可欠であるため、積極的に情報提供を行うなど密な連携に努めます。
P76 2-2-1 ごみ問題への対応	
<ul style="list-style-type: none"> コンビニ、スーパーから発生する食品ロス問題は、社会問題となっています。また、不法投棄も町民に限らず市町村からの人も関係してきます。モノを購入対応する《人》不法投棄する《人》、人の教育に関するウェートが高いので、非常に難しい問題ですが、自分も含め環境問題であることをより認識し、それを環境問題、身近な問題が地球規模の問題でいずれ私たちの生活にはねかえってくる事が分かるような PR を、町、企業、地域、家庭が一体となって取組みできるような工夫が必要だと思います。タバコのポイ捨て⇒タバコのフィルターは塩化セルロースとゆうプラスチックが使用されている⇒吸い殻が分解され側溝を伝わり川、海へとたどり着く⇒魚の体内に⇒漁獲され魚が私たちの食卓 	<ul style="list-style-type: none"> 主な取組に記載させていただいているとおり、住民・事業者・町が一体となってごみ減量に対する意識改革を推進します。
P80 3-1-1 農業振興	
<ul style="list-style-type: none"> 目標値指標について農業の生産性を追加したらどうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 目標指標に農産物収入を追加させていただきました。
P82 3-1-2 商業振興	
<ul style="list-style-type: none"> 年間商品販売額の資料が掲載されていますが、幸田町と規模が似ている他の市町村の統計数値を提示し、状況の把握説明をしたらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見ありがとうございます。他のページなどとのデザインを含めた整合性を考え、本ページには他市町の統計数値の掲載はしないこととさせていただきます。

ご意見	対応等
P84 3-1-3 工業振興・企業立地・新産業創出	
<ul style="list-style-type: none"> 目標指標を企業の付加価値(出荷額-材料費)を追加したかどうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 目標指標に製造品付加価値額を追加させていただきました。
P96 4-2-2 保育の充実	
<ul style="list-style-type: none"> 今後は、保育園&高齢者向け施設等、相互に良い関係が築ける施設の検討をし、財政の健全化に貢献するように努めると良いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> P98、P118 にさまざまな年代や団体が交流および活動できる多世代交流施設についての記載、P120-P121 の効率的で健全な行財政の主な取組には公共施設の統廃合の検討について記載させていただきました。
P104 5-1-1 学校教育の充実	
<ul style="list-style-type: none"> 「学校教育の充実」に係る施策の満足度の住民意識調査で 31.7%の回答を得ているが、学校授業の様子や誰一人取り残さない特別授業の対応を見ていると、低い数字で驚いています。具体的にどのように調べでこの結果になったのか知りたいです。検討して具体的な対応が必要であれば、順次取り組んで行く必要があると思います。また、現行対応がなされているのに、保護者、関係者に認識されていない場合は、ポイントを把握し適切な表現にて、広報、学校たより、メールなどで周知する必要があると思われます。 主な取組「細やかな教育の推進」では、擁護教諭補助員、授業担当補助員、介護職員等の補充により、充実した対応がなされていると思いますが、今後、人口減少、価値観の多様化など社会問題の影響を受ける状況になってきます。文部科学省や財政との対応が必要になると思いますが、子ども中心の考えを第一として取り組んで頂きたいと思います。 <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの人数が減ってもクラス数を極力減らさず少人数対応をする。(学校訪問で、坂崎、荻谷の子どもたちは、とても生き生きと元気に感じた) 不登校対応として、子どもたちの減少での空き教室を利用し、どこの学校からも登校できる(準)学びの多様化学校構想を状況におうじて創設 	<ul style="list-style-type: none"> 隔年で実施している住民意識調査の結果になります。18歳～90歳までの町民 2000 人を無作為に抽出して回答をいただいています。子育て世代や子育てを終えた世代で回答に差があると思われませんが、いずれにしても総合計画で目標指標に設定し、原因を分析することで満足度が向上するように努めていきます。 【教育環境の整備】に記載させていただいているとおり、不登校対策や、教員が子ども一人ひとりに向き合える教育環境の充実に今後も努めていきます。

ご意見	対応等
<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生の授業の在り方を、子どもたちに主体的に選択させて、ひとり一人の個性が活がいけるように工夫する。(文科省の指導要綱内での取組み)など 	
<p>P106 5-1-2 健やかな青少年の育成</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校5年生における不読率の低下について記されているが、読書は、0～5歳ぐらいまでの幼少期で、人格形成期での絵本等の読み聞かせ大切な期間と思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標指標は小学5年生とさせていただいていますが、主な取組に記載のあるように学校・幼稚園・保育園などと連携し、読書への興味と関心を深めてもらえるような環境を構築します。
<p>P110 5-2-1 歴史・伝統・文化の振興・継承</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料館の老朽化に伴う博物館構想は、幸田町を知って戴くためにまた、教育、歴史の学習のための核としてとても良いと思います。博物館の内容もさることながら、合わせて町民が来場しやすい館周辺の整備も必要に思います。家族連れのための公園、子ども遊戯レク広場、外で食事ができるベンチなど図書館の横に建設するのであれば、あそこに行けば家族で半日楽しめるような構想で計画をしてはどうだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土資料館の老朽化への対応と同時に幸田町の歴史が学ぶことができ、地元へ愛着を持ってもらうための構想です。より多くの人に訪れてもらえるような施設とするため、検討を進めていきます。
<p>P118 6-2-1 地域活動・多世代交流の推進</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな課題があるなかで、地域コミュニティの問題があります。そうしたなかで、大運動会、彦左まつりなどの区民、町民が一体となって行うイベントが無くなろうとしています。地域の繋がりは、防災体制の強化にとっても重要な役割を果たします。人が集まらないから止めるのではなく、どうしたら人が集まり楽しく過ごせるかを考えることが出来れば良いと思います。他の地区で1～3日かけて皆でお祭りをしている姿をみると羨ましく思います。当然、長い歴史・文化に培われてきた結果でしょうから一朝一夕にはできないと思いますが、どこかで始めないと出来ません。例えば、今度出来る菱池遊水地を利用するの区対抗大綱引き大会(男子の部 女子の部・男女混合/小学生の部・中学生の部・・・皆で力を合わせて) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【地域コミュニティの重要性】にも記載させていただいており、住民相互のつながりが希薄化することで、地域コミュニティの機能低下が懸念されています。地域コミュニティ団体への支援や地域の人たちが集まりやすい交流拠点の整備など、早急な改善は難しいですが、少しでも前進できるように努めていきます。

ご意見	対応等
P120 効率的で健全な行財政	
<ul style="list-style-type: none"> • 主な取組のなかで施設の統廃合の検討が記されています。これからの行政運営で財政の健全化が大変重要な取組みとなります。現在、坂崎区で多世代交流センターが計画されていますが、どの地区も公民館の老朽化が進んでいます。公民館の建て替えを前提に、公民館の一部機能を有した交流センターを計画し、公民館の老朽化に対応可能な施設として検討すると良いのではないのでしょうか。これは、こども課と教育委員会と部門の違う窓口となりますが、行政の横断的な対応が財政コストの低減に繋がると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> • P98、P118 にさまざまな年代や団体が交流および活動できる多世代交流施設についての記載、P120-P121 の効率的で健全な行財政の主な取組には公共施設の統廃合の検討について記載させていただきました。
P122 情報の発信と管理	
<ul style="list-style-type: none"> • 時代とともにますます DX、ネット、デジタル社会がすすんでいきます。社会では高齢化がすすんでいきます。高齢化社会では、アナログ的な情報の発信も必要になると考えられます。印刷物・広報の字の大きさや見やすい見出しの工夫など高齢者に優しい情報手段にて発信して欲しい。ラインで情報を受取り大変有難いです。こちらからの情報発信(無回答仕様)が出来れば、町としての行政運営の参考になるのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> • デジタル化の流れは今後、加速していくと思われていますが、アナログ的な手法を残しながら、受け取り手が情報の取得方法を選択できるように努めていきます。